

世界を変える起業家 (ビジコン in さいたま 2019 ぶぎん賞受賞企業) 株式会社 デジタルベリー

“さいたま発の新ビジネスが、世界を、業界を、地域を変えてゆく”をテーマに革新的なビジネスモデルで新規事業に挑む起業家を表彰する「世界を変える起業家」(主催:公益財団法人さいたま市産業創造財団、共催:さいたま市)コンテストの第2回授賞式が2019年12月4日に行われた。同日はさいたま市内に事業所を構える起業家10人が最終審査にノミネートされて各賞が発表された。今回、「ぶぎん賞」(協賛:武蔵野銀行)を受賞した株式会社デジタルベリー(県庁前支店お取引先)の谷本浩子氏に受賞テーマについて話をうかがった。



株式会社デジタルベリー
マネージャー 谷本 浩子 氏

—— ビジネスの概要について教えてください。

当社は2004年にWEBカタログの制作を目的に赤羽根社長が起業しました。創業からしばらくは、デジタルカタログの制作に特化していました。その後、赤羽根社長が“デジタルカタログで勝負をかけたい”という想いから、創業4年目に社名を「デジタルベリー」に変更して積極的に事業を展開してきました。

現在では、デジタルカタログのほかに、ホームページ(以下、HP)制作、紙の印刷物制作なども手掛け、この3本柱を中心に事業を行っています。デジタルカタログはこれまでに全国1,200社(県外9割、県内1割)の仕事を手掛け、制作代行の分野で制作実績数では日本一を誇ります。“デジタルカタログ”という名称をビジネスで使ったのも当社が日本で初めてです。

—— IT 企業が少ない本県では目覚ましい実績ですが、御社の強みを教えてください。

当社の強みはデザイン力、対面コミュニケーション力、財務力の3点に優れていることです。デザインは、常にシンプルで分かりやすい制作を心掛けてきたことが、お客様から高い評価につながっていると考えています。

また、対面コミュニケーション力では、フェイス to フェイスによる営業を大切にしています。問い合わせを受けると必ず、営業チームのメンバーがお客様を訪ねて、直接お会いして打ち合わせすることを大切にしています。財務力は14期連続で増収・黒字を達成しています。

—— どのような経緯から今回のサービスの発案につながったのですか？

当初はデジタルカタログで業績を伸ばしてきましたが、やがて市場が頭打ちになる中で、2012年頃から軸足をHPの制作にシフトしました。

HP制作は競争が激しい分野なのですが、市場規模が大きく、当社でも十分に勝負できると考えました。私自身の商談件数はこの10年間で500社になりますが、中でも製造業に関するHPは200社と数多く作ってきました。

そうした取引の中で、製造業の方から“PRがうまくできないのだがどうしたら良いだろうか”というお話をはじめ、“海外に販路を拡大したいがう

製品PR のための 10種の メディア



まくできない”、“人材募集が思う様に進まない”といった悩みを多く聞くようになりました。

当社では、HP制作やデジタルカタログなど複数のコンテンツ事業を手掛けていたので、そのようなニーズがあるのならば、ワンストップサービスが出来るのではないかと発案したのが今回の受賞に輝いた「クロスものメディア.com」サービスです。

——具体的なサービスの内容や特徴を教えてください。

説明が難しい製造業の製品やサービスを分かりやすくPRするためのコンテンツ制作をお手伝いするものです。10種類のメニューを用意させて頂き、既にHPを持っていれば初期費用10万円、保守費用は月額5万円でサービスを提供します。定額の範囲では、1ヵ月あたり6時間を上限に作業を行います。製造業であれば業種は問いません。

製造業に特化した定額制クロスメディアサービスとしては日本初で、2020年春のリリースを予定



社内の業務風景

しています。当社のあるさいたま市には、リーディングエッジ企業をはじめとする製造業が多数あります。さらに本県内には3万社以上の製造業があり、製造業の悩みを“まとめて低コストで解決”したいと考えています。

——谷本さんはIT業界では珍しい経歴ですね。

私は2009年12月に入社しました。学生時代は埼玉県立大学で社会福祉カウンセリングの勉強をしました。卒業後しばらくは福祉施設で働いていましたが、縁があり、当社に入社しました。以来、10年間にわたりお客様対応を担当しています。

IT業界と福祉業界では業種は異なりますが、困っている人の悩みを聞いて助けになれる、という点ではどちらも同じだと考えています。

——今後の具体的な目標を教えてください。

当社では年々、製造業のお客様が増えています。しかし、「クロスものメディア.com」サービスを展開することで、いずれは製造業に特化したサービスに限らず、他業種へも展開していく考えです。また、本事業がスタートする今春から10年後の2030年には、本事業のみの年間利益で20億円を達成したいと考えています。また会社としては、このプランを成功させて、2025年には株式上場を目指しています。

株式会社 デジタルベリー

所在地：さいたま市浦和区高砂 2-13-19 K2ビル

電話：048-814-1232

代表者：赤羽根 康男氏

設立：2004年8月